

CASBEE神戸ver.3

■使用評価マニュアル: CASBEE神戸ver.3

評価結果

使用評価ソフト: CASBEE神戸ver.3/CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)介護付有料老人ホーム さわか	階数	地上5F
建設地	神戸市西区玉津町新方字西方550番	構造	S造
用途地域	第1種住居地域 第5種高度地区	平均居住人員	80人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	病院,工場,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2020年3月 予定	評価の実施日	2020年1月7日
敷地面積	2,182 m ²	作成者	清水一級建築設計事務所 清水昭景
建築面積	983 m ²	確認日	
延床面積	4,119 m ²	確認者	



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
<p>BEE = 1.4</p>	<p>標準計算</p>	

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Q のスコア = 3.3

Q1 室内環境 Q1のスコア = 3.5 	Q2 サービス性能 Q2のスコア = 3.7 	Q3 室外環境 (敷地内) Q3のスコア = 2.8
---	---	---

LR 環境負荷低減性 LR のスコア = 3.3

LR1 エネルギー LR1のスコア = 3.5 	LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 3.3 	LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.0
--	---	--

3 CASBEE神戸の重要項目		
バリアフリー計画 Q-2/1.1.3 バリアフリー計画 5.0	建築物の耐震性等 Q-2/2.1 耐震・免震・制震・制振 3.0 Q-2/2.4 信頼性 3.2	まちなみ・景観への配慮 Q-3/2. まちなみ・景観への配慮 3.0
配慮の概要 居室とバルコニー床は±0とし、バルコニーは建物四周している。避難用滑り台を設け、建物から外部へ出る場合もスロープを設けるバリアフリー計画としている。	配慮の概要 一次設計において柱・大梁の検定値は最大で0.90前後となるように調整し、余裕を持たせている。二次設計においては、保有水平耐力/必要水平耐力=1.28と十分な余裕を持たせている。以上により、建物の耐震性については問題ないと判断しています。	配慮の概要 外壁 色相2.5Y/明度9/彩度4 バルコニー 色相10YR/明度9/彩度1 隣地民家側には十分な緑地を確保している。
その他の配慮事項		

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される